

健康と生きがい、
シニアライフを考える

海風

特別・特定医療法人社団
社会福祉法人

松涛会広報誌

No.29 新年号
平成22年



松涛会理念

「医療・介護・福祉の連携、
地域との連携」の推進により、
心豊かな地域社会に
貢献いたします。



聖路加国際病院 理事長 日野原 重明先生「フロイデ彦島」訪問

海風巻頭言

二〇一〇年の年頭に寄せて
行事でふり返る2009年

医療最前線

福祉最前線

トピックス&ニュース

聖路加国際病院 理事長 日野原 重明先生

「フロイデ彦島」訪問

オフタイムの1コマ「職員旅行記」

「ケアタウン山の田」オープン

創立50周年のお知らせ



緩和ケア病棟 クリスマス会



慶弔節

二〇一〇年の年頭に寄せて



松涛会 理事長
齋藤 正樹

昨年、立秋の前日に、梅雨明け宣言があり、暦の上では夏がなかったことになり、驚きました。

次に、新型インフルエンザが発生。嘗てのスペインかぜと同じく世界的流行。

昨年からの世界経済危機と共に、百年に一度の遭遇です。

台風が二年連続我が国を直撃しなかったのは、ラッキーでした。

松涛会の明るいニュースとして、岡田久子教育担当部長が瑞宝双光章を受章されました。長年の地味な看護の努力が高く評価され、おめでとうございます。彼女と一緒に仕事ができることは、松涛会一同光栄です。

六月には、緩和ケア病棟十周年記念を盛大に迎えることができ、皆様に感謝いたします。

十月には、フジバカマの蜜を求めて、渡

り蝶アサギマダラが、今年も飛来。多数の外来者がやって来ました。その二匹にマーキングしたのが判明し、感動しました。

十二月には、聖路加国際病院理事長の日野原重明先生（九十八歳）が「フロイデ彦島」を視察。エネルギーギッシュで、お元気な姿に接し、入所者・職員一同大変感激しました。

今年も、円高、ドル安、デフレが続くでしょう。

本年四月には、「ケアタウン山の田」がオープンします。

診療所、短期リハビリ、グループホーム、小規模多機能施設、高齢者専用賃貸住宅、そしてコンビニ等の複合施設で、街づくりの一環に貢献するものと自負しており、職員と共に、活気的な事業の展開を期待しております。

皆様とご家族の御健勝を祈念します。



安岡病院 院長
原 好弘

皆様、あけましておめでとうございます。昨年は大変な年でした。新型インフルエンザの流行で世の中が騒がしくなる一方、サブプライムローンから始まった世界不況からは、なかなか抜け出せず景気は悪いまま、しかもデフレ・スパイラルにはいつてしまい、あちこちで不景気の悲鳴があがっています。政治の方といえば、自民党に代わり民主党が政権をとり、新しい政治が始まるとうとしています。しかしスタート・ダッシュが決まらず、苦労している状態です。鳩山総理に大いに期待するところなのですが、どうも意気込みだけが空回りをし、なかなかうまく前に進んでくれません。おそらく、このような混沌とした重くらしい状況がしばらくは続くのでしょうか。

医療・介護の世界を見渡しても、いまだに混沌としておりまです。でも、そうはいっても暗いことだけではありません。少しは希望が持てそうです。それは、今年が診療報酬改定の年にあたるからです。民主党政府は荒廃したこの医療・福祉・介護に力を入れ、立ち直りを図りたいとしており、少しは状況が良くなるのではと期待しているところですが、それはさておき、今年、我が松涛会にとって二つの大きな節目の年になります。創立五十周年を迎え、さらに「ケアタウン山の田」のオープンがひかえております。記念式典も計画しているところです。暗い世相の中にあっても希望を持ち、病院が掲げた理念に立ち返り、地域医療の貢献に向かつて努力し、是非成功させていきたいと思っております。どうか皆様方のご協力を切にお願いいたします。

皆様とご家族のご健康をお祈りいたします。



4月17日(金)

ホームヘルパー2級養成講座

今年度第1回(通算第25回)のヘルパー養成講座が、4月17日から5月30日までの日程で行われ、10代から60代までの男女合わせて45名の方が受講されました。第2回は、9月7日から10月22日までの実施で、23名の受講者でした。



6月13日(土)

緩和ケア病棟10周年記念講演会・シンポジウム

下関市民会館中ホールで、一般市民や医療従事者約400名が参加して開催されました。下稲葉かおり先生の心に残る講演の後、バネリスト8名による市民参加型シンポジウムで「市民の安全・安心を守るネットワーク作り」について、活発な意見が交わされました。



7月11日(土)

ケアタウン山の田・地鎮祭

医療・介護・食事・見守り・住居の5つの安心の特長を持つケアタウン山の田の地鎮祭が、松涛会から理事長、副理事長、院長をはじめ14人が出席して執り行われました。工事完成は2010年2月末、開設は4月の予定です。



8月

夏まつり

8月は夏まつりの季節。松涛会の各施設でも、職員と入所者・入院患者やそのご家族、ボランティアの皆さんが大勢参加して夏まつりが行われ、カラオケや日舞、フラダンスなどの演芸、ゲーム大会や動物占いなどそれぞれに趣向をこらした内容で、大いに盛り上がりました。



10月24日(土)

松涛会文化祭

秋晴れの空の下、恒例の松涛会文化祭が開催され、地域の方、患者様のご家族を含め約300人が来訪、どのコーナーも大賑わいでした。野外での演芸会は、可愛らしい保育園児の楽器演奏に始まり、最後は小月自衛隊の皆さんによる勇壮な沖縄エイサー踊りで締めくくりました。



10月31日(土)

緩和ケア思い出を語る会

今回で10回目となる緩和ケアの思い出を語る会には、19家族38名の方が参加されました。スタッフとともに患者様の思い出を語ったり、ご遺族の方の深い痛みをお話しいただきました。今後もお遺族のグリーフケアの手助けとなるよう、努力してまいります。



12月22日(火)

松涛会忘年会

一年の締めくくりに恒例の松涛会忘年会が行われました。今回過去最高の450名が参加。永年勤続表彰(20年1名、15年12名)の他、職員之余興5チームの熱演に会場は笑い熱気に包まれました。職員の皆さん1年間お疲れさまでした。



「受章おめでとうございませう。」

「瑞宝双光章」を受章して

看護部教育担当部長

岡田 久子



皆様方には輝かしい新年を迎えられたことと、心よりお慶び申し上げます。

さて、私は、昨年天皇即位二十周年という記念すべき年に、瑞宝双光章を授与されるという栄誉に浴しました。その折には、理事長・副理事長始め多くの皆様方から身に余る祝福を受け、勿体なく思うと共に嬉しくも思いました。私が永年看護職を続けてこられたのも、これまで多くの方々の支えがあったからだ、感謝の気持ち一杯です。

省みず、若くして管理職となり、経験のみを頼り一生懸命にひたすら走り続けました。一生懸命さ故に周りの状況が見えず、その間、多くの皆様方に迷惑をかけたと今では反省することしきりです。

今後は、松涛会の利用者・患者・家族の皆様さん方に、今以上に満足して戴けるようサービスの提供者としての一翼を担い、組織の発展に寄与できればと思っております。その為には人権とコンプライアンスを自分自身の行動規範とし、懸命と誠実を信念として頑張つてまいります。

QCキックオフ大会

統括本部 副本部長 浅田 光博

近年、医療機関において「QC活動」が活発化している。これは医療がサービス業として認知されるに至り、医療現場による改善活動の必要性が求められているためである。当安岡病院においても、平成20年度から看護部よりQC手法による改善活動が取り入れられていたが、今期より看護部のみならず院内全体への水平展開を実施し、正式なQC手法を導入した改善活動に取り組むこととなった次第である。

周知徹底を図り、手法の取得、院内説明会、各部署へのサークルの募集を経て、10月1日にはキックオフ大会を開催する運びとなった。

集まったサークルは全部で11部署12サークルであった。従来、QC活動は現場の職員が自ら、楽しく、継続的に実行することを旨としている。そのため、各サークルの取り組み内容(テーマ)とそれに取り組む決意表明の発表を目的として開催するキックオフ大会では、各部署で創意工夫された内容の発表や寸劇風のプレゼンが非常に面白く、充実した楽しい内容であった。

小集団による微小な活動であるため、病院全体としての大きな改善効果は望めない。しかし、各サークルが今年度末までの半年間で実施する本活動が、医療・介護のサービス向上と職員のモチベーション改善および個人の意識改革となり、次年度へ継続されることを切に祈っている。

活動の成果は、終了後結果発表会を開催し皆さんにご披露します。乞うご期待！



モーニングケア開始

リハビリテーション科 科長 品川 紀史

回復期リハビリテーション病棟では、12月1日より作業療法士・理学療法士によるモーニングケアを開始しました。モーニングケアとは、朝起きて、顔を洗い、トイレに行き、服を着替えて、朝食をとる。この家庭では一般的な行動をリハビリテーションの視点から練習をしていくことです。

回復期リハビリテーション病棟では、「朝起きて寝るまでの生活全体がリハビリである」と言われるように、生活そのものによりリハビリテーションを積極的に導入する必要性が出てきています。

これからも退院した後の自立支援・生活支援につながるように、質の高いリハビリテーションを提供していきたいと思っております。

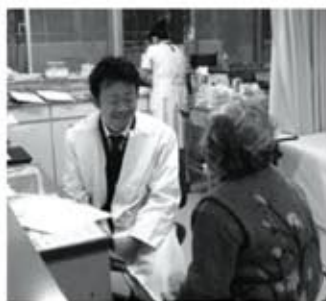
「蓋井島のお年寄り」定期外来診療開始

安岡病院 事務長 松井 利三

蓋井島のお年寄りの方々とは長年にわたり訪問診療(平成13年まで)に始まり、ホームヘルパー事業、ケアマネさん等を通じて交流が続いております。

10月4日、久しぶりに理事長以下役員が島を訪れた際、島民の方々に大変温かく迎えていただきました。

安岡病院で毎週土曜日に整形外科の外来診療を行っていることから、それ以後土曜日ごとに、島のお年寄りが外来受診に来られるようになりました。船の便もあり、送迎はもちろん季節の風物詩や行事(アサギマダラ、文化祭等)、病棟・フロイデの見学等も織り交ぜ、島民の方々に喜んでもらっています。まさに、「あなたの喜びが生きがいです」を実感しております。今後も続けていきたいと思っております。



「下関市老人福祉施設交流演芸大会」

ケアハウス オリープ 植田 学

「今までで、一番よかったよ」
参加者からこんな声をいただきました。当
番施設として大変うれしい言葉でした。

下関市老人福祉施設協議会主催の交流演
芸大会は、去る九月二十七日(日)、菊川町ふれ
あい会館で行われました。新型インフルエンザへ
の対策も十分に行われましたが、その影響か
参加者は昨年を下回りました。一方で、出演者
は斎藤施設長の人脈を借りて、豪華キャストを
迎えることができました。

「みよし会花柳流・花柳三吉社中」の皆さんに
よる四季を感じさせる日本舞踊、その名も「四
季の舞」に始まり、参加者と一緒に童謡を歌っ
て下さった「混声合唱団 コーロ・ブレッツァ」の
方々。また、「ソプ
ラノ歌手 五十嵐
美紀子さん」の心
に染みる歌声は、
会場をうっとりさ
せました。

締めくくりは、
「海上自衛隊 小
月基地エイサー
部」の皆さんに、
「沖繩エイサー」を
披露いただき、大
会は大興奮のまま
終了しました。



「いきいき、ふれあい教室活動状況」

あやらぎ在宅介護支援センター 佐藤 悦子

綾羅木での教室が始まって、二回目の冬を迎
えました。講師の村嶋先生(健康運動指導士)
の指導のもと、「身近で、楽しく、誘い易い仲間
作り」、介護予防を目指すこの教室が、少しずつ
町の高齢者に広まりつつあります。

現在、初心者十六名(年三十回)、昨年からの利
用している体験者十七名(年十二回)が登録さ
れています。

木曜日、元気な声が徒歩や自転車で行って来ま
す。健康チェック後、音楽に合わせてストレッチ、リ
ズム体操を行います。他にもマット体操、ヨガも取
り入れ、特に今の季節は風邪予防やウォームスト
レッチなども行い、内容の濃い二時間となっています。
「そこ！それ！足あげたつもりです？」おど
けた男性参加者と
孫みたいな先生との
楽しいやり取り。ま
た、「肩が軽くなった。
良い事だらけ」と嬉
しそうに言われる参
加者。

当支援センターで
は、高齢者の不安に
応えるべく、悩みに
寄り添う支援を目指
します。



「農作業で芋作り」

脳いきいきデイサービスねぎ 上田 佳弘

私たちは、植物を育てる喜びや感動を通して
心身の活性化を図る園芸療法を実践する為、
地元の農家より畑をお借りして、ご利用者と共
に農作業に取り組んでいます。

春になりまず芋の蔓を植えました。暑い夏
の日は長時間の作業ができず、又雨が降れば作
業自体ができない日もあり、収穫できる日が来
るかと不安になりました。それでも自然の力
は凄いもので自らの力で立派に育ち、たくさん
の芋を収穫することができました。

どのご利用者も芋掘りの時は皆、目を輝かせ
普段では見られない手足のスミズミな動き、力仕
事への意欲がみなぎっていました。

収穫した芋は、料理会で芋ようかんや芋きんと
んを作り、文化祭で焼き芋として販売しました。
ご家族にも喜ばれ大変好評
でした。

日頃、ご利用者の見るこ
とのできない一面を引き出
せる自然の力に感謝し、園
芸療法を通じて今後も皆
さんと一緒に農作業を行っ
ていきたいと思っています。



一人の学芸会が大拍手

蓋井小・藤永翔太君

十二月二十七日(金)、蓋井島から島でたった一人の小学生藤永翔太君(小2)が、安岡病院を訪問。コスモス入所者や職員約百人の見守る中、学校で練習したという得意のハーモニカ演奏や落語を披露してくれました。藤永君は、島ではせっかく練習した歌や落語を発表する機会が少なく、学校の先生から「安岡病院の利用者に見てもらえないか」との申し出を受けて、今回の「学芸会」が実現することになりました。

落語「まんじゅうこわい」では、藤永君の大人顔負けの軽妙な語りでの熱演に、会場も笑いの渦と拍手に包まれました。入所者からは、「上手でびっくりした。良い思い出ができた」との声があり、藤永君も「喜んでもらえてホッとした」とうれしそうなお様子でした。

(森中 健治)



園芸療法で稲作

園芸療法の一貫として、今回初めてハビリ室で稲を植えました。

もみを育てる、苗を植える、稲を刈るまでを片手しか使えない患者様は植えることを、両手が使える患者様は稲を刈ることを中心に、役割分担しながら行いました。苗は発泡スチロールの箱等に植えました。

苗を植える際は、皆様慣れた手つきで「まどめてこう植えるんよ」と教えて頂くことがたくさんでした。高齢者の方にとつて、馴染みある稲作は昔の事を思い出すきっかけとなります。「手伝いでやってたね」等の思い出を話されながら、皆様笑顔で行われていました。

途中水が干上がる等大変な事もありましたが、無事に収穫する事ができました。今回は植えた量が少なかったのですが、来年はたくさん植えて皆様で食べられたらいいなと思います。

(松永 陽子)



杜の宮二周年記念バザー

「杜の宮」は十月一日にオープン二周年を迎えました。地域の方に二周年お世話になったお礼として、安岡八幡様の秋祭りに併せ、不用品バザーを行うことになりました。早々準備に取りかかり、職員の家庭やご利用者のご家族の協力を得て、多数の品物が集まりました。

しかし、当日開店したものの閑古鳥の鳴く始末。そこで、職員とご利用者で散歩を兼ねてお宮へ呼び込みに出かけ、「隣の杜の宮でオープン二周年バザーをしています。参拝帰りに是非お立ち寄り下さい」と声をかけをして回りました。すると早々家族連れの方々が会場に流れ、これをきっかけに次々と来店客があり、あっという間に完売となりました。近隣の方々と楽しい交流の時間も持て、想い出に残る二周年記念となりました。

(川尻 日出夫)



はまゆう苑から旅立ち

介護福祉士、相談員として十五年間勤務された吉原由紀さんが結婚を機に退職。11月22日「良い夫婦の日」に、尾道に在住の方と結婚式を挙げられました。

職場では、いつも相手の立場になって笑顔で優しく、職員の模範となった由紀さん。お世話になった入居者様、ご利用者様に、「一目晴れ姿を...とはまゆう苑から支度され、日本髪に純白の衣装をまとい、花嫁姿を披露されました。

「きれいねー」「可愛いねー」「久しぶりに花嫁さんを見た。お幸せにネー」と感激され、手を取って涙される方、記念写真を撮ったり皆さんから祝福されて、いい旅立ちをされました。

(宮原 律子)



「聖路加国際病院 理事長

日野原 重明先生 フロイデ彦島訪問

去年の暮の日曜日、日野原重明先生が北九州空港への帰路の途中、約1時間フロイデ彦島に寄られた。約30分施設内を足早に見学され、「設計は誰ですか?」「個室、夫婦部屋を見せて下さい」等々質問され、「ここは評判より現地を見た方が更にいいね」と感想をもらされた。

見学の後、フロイデの食堂に集まった入所者、地域の方々、職員約百名を前にお話をしていた。まず一番、「私より年上の人はいますか? (誰もいない)」さらに先生が「近いうちに下関に来ます」と言うと、皆さん大笑い。先生は、「夢を持ちなさい。希望を持つと自然に顔が上を向き、姿勢が良くなる。誰かの為になる生き方をしましょう。もつと辛い人がいることを忘れないでほしい。よど号ハイジャック事件の時私はそう思った。人の過ちを許し、好きな人の真似をしましょう」と話されました。ペーターペンホールでピアノに触れられ、タンノイでフォールのレクイエムを聴かれ、「私はこの曲で送ってもらいたい」と一言。

日野原先生の常に前向きで夢を追って行動する姿を支えているのは、まさにこの考えなのだと思えるように思う。

(副理事長 斎藤 妙子)



☆ オフタイムの1コマ～職員旅行記～



北海道はよかったぞー!

「夏のロシア」

サンクトピートルスクアは山が見当らない。
果てしなく続く地平線。広く、

(斎藤 正樹)

サンクトピートルブルグの日本領事館の前でみんなで万歳三唱をして参りました。周りの人たちが驚いていましたよ。

(原 好弘)

映画「スパイゲーマン」の一場面、「彼はマンハッタンで青銅の騎士だ!」夏ベテル、デカプリスト広場の騎士は紐育にもいたのだ!

(菊池 悟)

皇帝の最盛期と終焉の歴史。エルミタージュの窓から眺めるネヴァ川。帝政ロシアの独特な世界に没り、すっかり私達を魅了する。

(斎藤 妙子)

皆既日食の時期に、美術館や宮殿と絢爛豪華な雰囲気味わった。方々で、若者が自国の歴史に対する見方も変化していることに驚いた。

(斎藤 英樹)

「冬の北海道」

北・冬・厳・広・人・都・拓・狩・味・蝦・等々、奥深さを確認する為にもう3回、訪れたいと思っています。

(松井 利三)

夏人間の私がなぜ冬の北海道に行かせて頂きました。雪の中に動物達のかわいい姿に、とても感動しました。

(小川原 智佐子)

今回初めて念願の旭山動物園に行かせて頂きました。雪の中の動物達のかわいい姿に、とても感動しました。

(橋本 令子)

まず白夜に興奮。ロシア史に名声を残したピョートル皇帝とエカテリーナ皇帝。栄華を静かに語りかけてくれた。

(上野 節子)

日露戦争の日本海海戦で対戦したロシア艦船が繋留されていた。明治、列強ロシアに戦勝した日本海軍の勇姿を想い写真に収める。

(山瀬 潤子)

青い空、白い雲、ロシアの中世の文化芸術多くの素晴らしい世界遺産を観光し、白夜に感動。赤の広場に今立つ私。

(斎藤 豊子)

整然とした高く大きな建物と道路脇に飾られた花が、冷たく感じる街を温かく迎えてくれていました。食事も美味で満喫した旅でした。

(菅 ハスミ)

日頃接触の無い部署の方と夕食を囲んで交流ができ、大変有意義な旅でした。これからも参加しようと思えました。

(吉田 眞澄)

旭山動物園で楽しい時間を過ごし、層雲峡の温泉で癒され、峡谷の迫力に自然の力を感嘆したすばらしい旅でした。

(田村 早苗)



ケアタウン山の田

CARE TOWN YAMANOTA

2010年4月 OPEN

入居者募集中!!

個々の自立を尊重しながら、
安心、支え合いの住まいを実現します。

高齢者専用賃貸住宅(50戸)

+

診療所

リハビリ施設

調剤薬局

小規模多機能型居宅介護

- 通所介護(デイサービス)
- 訪問介護(ホームヘルパー)
- 短期入所(ショートステイ)

グループホーム

食堂



コンビニ等を併設した複合施設です。



●お申し込み・お問い合わせは

特別・特定医療法人 社団 松涛会
安岡病院事務局

☎083-258-3711

9:00~17:00(土曜日は12:00まで) / 日曜定休

創立50年周年の
お知らせ

下関市彦島江の浦町に斎藤医院を開設してから、今年で創立50周年を迎えます。医療界が様々に移り変わっていく中で、松涛会グループは今、職員数800名の組織となりました。今年は創立半世紀の節目にあたり、記念行事を考えています。皆様のご協力をお願いいたします。

新年号 No.29 発行年月日/平成22年1月1日 発行元/医療法人・社会福祉法人 松涛会 〒759-6604 下関市横野町三丁目16番35号
安岡病院 083-258-3711 はまゆう苑 083-258-3800 <http://www.syoutoukai.or.jp>